

気になる歯並びと矯正治療

矯正治療 Q&A (よくある質問)

Q1. 矯正治療は何歳で始めればいいのか？

患者さんの症状によって、治療開始時期が異なってきます。受け口などの患者さんの場合、顔やあごの成長・発育をコントロールするためには、矯正治療を「いつから始めるか？」が大切です。あとで、「あのとき始めておけばよかった…」と後悔しないために、早い時期に、顔の発育や歯ならびについて、当科矯正科にご相談されることをおすすめします。

Q2. 矯正治療は何歳まで、できるのか？

矯正治療を受けるには、健康な歯、歯周組織であることが必要です。健康な歯、歯周組織を維持していれば、基本的には、年齢制限はありません。

Q3. 矯正治療に健康保険は使えるのか？

以下の疾患に起因する咬合異常に対する歯科矯正治療には、健康保険が適応されます。

「口唇裂・口蓋裂・顔面裂」、「顎変形症」、「ゴールデンハー症候群(鰐弓異常症を含む)」、「鎖骨・頭蓋異形成症」、「クルーゾン症候群」、「トリチャーコリンズ症候群」、「ピエールロバン症候群」、「ダウン症候群」、「ラッセルシルバー症候群」、「ターナー症候群」、「ベックウィズ・ウィードマン症候群」、「尖頭合指症」、「ロンベルグ症候群」、「先天性ミオパチー」、「顔面半側肥大症」、「エリス・ヴァン・クレベルド症候群」、「軟骨形成不全症」、「外胚葉異形成症」、「神経線維症」、「基底細胞母斑症候群」、「ヌーナン症候群」、「マルファン症候群」、「ブラダーウィリー症候群」

※上記以外の場合は自費診療となり保険適応されません。

大阪大学歯学部付属病院

矯正科サイトより引用

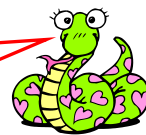
気になる歯並び、チェックポイントは？

- ① 上あごと下あごが前後か左右に極端にずれている
- ② 奥歯でかむと前歯があわず、上下の歯の間に隙間がある
- ③ 下の前歯が上の前歯にかなり隠れている
- ④ 永久歯の歯が多い
- ⑤ 歯と歯の隙間が広い
- ⑥ 歯並びが極端にでこぼこしている
- ⑦ 歯が当たって唇にけがをすることが多い
- ⑧ 一生懸命かんでいるのに、食事に時間がかかる
- ⑨ 発音がしにくい
- ⑩ 外見をととても気にする

歯並びが悪いと何が起るのか。「見た目に関心がいきがちだが、虫歯や歯周病になりやすく、かむ力やあごの発育など、影響が及ぶ範囲は広い」と東北大の山本照子教授。

歯と歯が重なっている部分などは、磨き残しが多くなりがち。前歯や下あごが出ているために口が開きがちな場合、口の中が乾燥して炎症が起りやすくなり、歯肉炎や歯槽膿漏が治りにくい。一生懸命かんでいるのに食べるのが遅い子やかみ切れない子は、歯並びやかみ合わせが悪いことが少なくないという。

朝日新聞
より



※ 小室歯科天王寺診療所におきましても矯正歯科の認定医・指導医 小室明子が、矯正治療を行っておりますのでご相談下さい。

喜ばれることに喜びを...

小室歯科

■ 天王寺診療所

Tel: 06-6779-7082

■ 天王寺ミオ診療所

Tel: 06-6770-1182

■ 難波診療所

Tel: 06-6644-5661

■ 関西国際空港エアロプラザ診療所

Tel: 072-456-8601



DENTAL CLINIC KOMURO GROUP